

1 障がい者の状況

1 身体障がい者の状況

多治見市内の身体障害者手帳交付年齢構成別の推移 (人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
18歳未満	65	63	60
18歳以上	4,562	4,541	4,484
総数	4,627	4,604	4,544

資料:「身体障害者手帳交付台帳登載数」岐阜県身体障害者更生相談所(各年度3月31日現在)

多治見市内の身体障害者手帳交付等級別の推移 (人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1級	1,507	1,520	1,485
2級	670	658	659
3級	919	941	947
4級	1,067	1,024	998
5級	253	253	249
6級	211	208	206
合計	4,627	4,604	4,544

資料:「身体障害者手帳交付台帳登載数」岐阜県身体障害者更生相談所(各年度3月31日現在)

多治見市内の身体障がい種別別及び年齢構成別の推移 (人)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
視覚障がい	18歳未満	2	2	2
	18歳以上	273	266	259
	計	275	268	261
聴覚・平衡機能障がい	18歳未満	6	6	5
	18歳以上	305	306	304
	計	311	312	309
音声・言語・そしゃく機能障害	18歳未満	0	0	0
	18歳以上	51	51	50
	計	51	51	50
肢体不自由	18歳未満	47	46	44
	18歳以上	2,218	2,158	2,111
	計	2,265	2,204	2,155
内部障がい	18歳未満	10	9	9
	18歳以上	1,715	1,760	1,760
	計	1,725	1,769	1,769
合計	18歳未満	65	63	60
	18歳以上	4,562	4,541	4,484
	計	4,627	4,604	4,544

資料:「身体障害者手帳交付台帳登載数」岐阜県身体障害者更生相談所(各年度3月31日現在)

2 知的障がい者の状況

多治見市内の知的障がい者の年齢構成別の推移 (人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
18歳未満	281	281	298
18～64歳	758	772	794
65歳以上	59	61	67
計	1,098	1,114	1,159

資料:岐阜県障害福祉課(知的障害者更生相談所)「療育手帳交付状況表」(各年度3月31日現在)

多治見市内の知的障がい程度別の推移

(人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
A判定	40	38	38
A1 判定	160	159	162
A2 判定	193	196	204
B1 判定	322	331	329
B2 判定	383	390	426
合 計	1,098	1,114	1,159

資料:岐阜県障害福祉課(知的障害者更生相談所)「療育手帳交付状況表」(各年度3月31日現在)

3 精神障がい者の状況

多治見市内の障害等級別の推移

(人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1 級	260	273	275
2 級	581	621	662
3 級	109	125	141
合 計	950	1,019	1,078

資料:「東濃西部の公衆衛生」東濃保健所(各年度3月31日現在)

4 難病患者の状況

多治見市内の特定疾患認定者(※1)及び指定難病認定者(※2)の推移 (人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
特定疾患認定者数	1	1	1
指定難病認定者数	789	782	792

資料:「東濃西部の公衆衛生」東濃保健所(各年度3月31日現在)

※1 特定疾患認定者

(ア)平成26年12月31日まで

都道府県が実施する特定疾患治療研究事業に定められた疾病の患者

(イ)平成27年1月1日から

前記(ア)の疾病の患者のうち、指定難病にならなかった疾病の患者

※2 指定難病認定者

難病の患者に対する医療等に関する法律(平成26年法律第50号)に定められた難病の患者

5 障害福祉サービス受給者証交付者数

多治見市の障害福祉サービス受給者証交付者数 (人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
障がい者数※	7,465	7,520	7,574
受給者証交付者数※	793	820	841

※ 障がい者数は、各手帳交付者数並びに指定難病認定者数及び特定疾患認定者数の合計

※ 受給者証交付者数は各年度末現在の受給者証保持者数

2 アンケート調査

アンケート調査については、別冊「多治見市障がいのある方の福祉に関するアンケート調査結果報告書」にまとめています。

3 障がい者団体との意見交換会

1 目的

障がい者本人やその家族等の現状や個別の具体的なニーズを把握するため、障がい者団体との意見交換会を実施しました。

2 意見交換会実施団体

○12 団体(順不同)

- 岐阜県身体障害者福祉協会多治見支部
(身体障がい者の福祉増進を目的として活動する団体)
- 岐阜県視覚障害者福祉協会(視覚障がい者の福祉増進を目的として活動する団体)
- 岐阜県聴覚障害者福祉協会多治見支部
(聴覚障がい者の福祉増進を目的として活動する団体)
- 岐阜県自閉症協会多治見市ブロック
(自閉症児(者)の福祉増進を目的として、その家族が中心となって活動する団体)
- 東濃さつき会(精神障がい者及びその家族の福祉向上を目的として活動を行う団体)
- 多治見地区手をつなぐ親の会(知的障がい者の福祉増進を目的として活動する団体)
- 多治見市肢体不自由児・者父母の会
(肢体不自由児(者)の福祉増進を目的として活動する団体)
- 多治見市重度心身障害者協会
(重度心身障がい者の福祉増進を目的として活動する団体)
- 岐阜県難病団体連絡協議会
(難病患者の医療・保健・福祉の増進を目的として活動する団体)
- 東濃特別支援学校保護者会
(東濃特別支援学校に通う子どもの福祉増進を目的として活動する保護者会)
- 発達支援センター「ひまわり」保護者会(心身に障がいや発達に何らかの遅れや偏りがあり、発達支援センターひまわりに通う幼児を持つ親同士の交流等を行う保護者会)
- 発達支援センター「なかよし」保護者会(心身に障がいや発達に何らかの遅れや偏りがあり、発達支援センターなかよしに通う幼児を持つ親同士の交流等を行う保護者会)

3 意見交換会における主な意見の概要(順不同)

■ 岐阜県身体障害者福祉協会多治見支部

(身体障がい者の福祉増進を目的として活動する団体)

介護区分認定について	○介護区分認定で軽い判定となってしまった。もっとしっかり対象者を見て、項目のチェックだけの機械的な見方をしないようにしてほしい。
65歳における介護保険への移行	○65歳の壁と言われ、障害者福祉サービスから介護保険に移行すると、サポートされない部分があると聞いているので、スムーズな段差のない移行をしたい。
ヘルプマーク	○困った時、自分の状況が説明できない人に対して配慮されないことがあるようだ。啓発をしっかりとしてほしい。
災害時	○災害時に困らないよう、ストマ(人工肛門用パウチ等)を市にストックさせてほしい。他市に事例ある。 ○指定避難所にストマ使用者用のトイレや多目的トイレは備わっているか。ない場合は授乳室のような個室があるとよい。

■ 岐阜県視覚障害者福祉協会(視覚障がい者の福祉増進を目的として活動する団体)

各種要望	○要望は、聞きっぱなしにしないようにしてほしい。
合理的配慮	○支援給付金について、本庁4階で申請に行った。申請書の代筆を、担当者やその上司ができないとあって、結局持ち帰ることになった。選挙も代筆できるのに、市全体の問題として周知してほしい。
交通機関、外出支援	○公共バスが自宅の近くを通っていない。太多線の駅まででもいいので通してほしい。 ○今、タクシー運転手不足で、外出が思うようにできず困っている。

■ 岐阜県聴覚障害者福祉協会多治見支部

(聴覚障がい者の福祉増進を目的として活動する団体)

生活内のコミュニケーション	○店舗のレジ等にコミュニケーションボードやカードを置いてほしい(レジ袋がある、いらない、支払方法(現金か電子マネーかなど)、テイクアウトかどうかなど、絵と文字で記されているもの)
聞こえない方のつながり	○協会に入っていない方で、聞こえない方は多くいて、困っていると思う。協会など福祉につながるように対応してほしい。
手話通訳員	○手話通訳員が市役所にいない時、困る。
公共交通機関の表示	○表示が不十分で、下車したいときに下車できないことがあった。

■ 岐阜県自閉症協会多治見市ブロック

(自閉症児(者)の福祉増進を目的として、その家族が中心となって活動する団体)

成年後見制度	○制度や申請の仕方について、わかりやすく教えてほしい。
災害時	○障害者が避難所で不安からパニックになり、周りに迷惑をかけてしまうので、直接福祉避難所に行きたい。また、迷惑をかけたくなく、危険な自宅などに戻ってしまう方もあるかもしれない。

65歳における介護保険への移行	○65歳になると、原則介護保険に移行し、障がいに関する部分については障害福祉サービスがでるようだが、ケアマネージャーが知っているか心配だ。
親亡き後	○親亡き後、どのくらいお金がいるのか心配だ。 ○障害福祉サービス以外で、病院の付き添いなどは実費となる。保険に入ったり貯金をしたりしているが、公費負担してほしい。
マイナンバー	○手帳や福祉医療証との連携がされて、申請を楽にしたい。
施設の巡回	○身体拘束などのニュースを見ると不安だ。市などが時々回って施設の中を見てチェックしてほしい。

■ 東濃さつき会(精神障がい者及びその家族の福祉向上を目的として活動を行う団体)

個人への助成	○障害福祉サービスを利用するにあたり、自己負担額があるが、他市の方は助成があって0円だが、多治見市は助成がなく請求されている。差の無いようにならないか。 ○交通費助成の制度が変わり、助成が受けられず、通所できなくなってしまった方があった。他市の方は助成があるのに残念だ。
マイナンバーカード	○持つべきか、持たない方がよいか判断がつかない。 ○取り扱いに不安がある。 ○カードには更新がある。一度で済まないだろうか。 ○保険証と福祉医療証などを連携して、病院での提示を1つで済ませたい。
グループホーム	○グループホームに入れても、一度入院すると、また元のグループホームが受け入れてくれないこともあると聞いた。そんな時はどうしたらいいか、心配だ。
親亡き後	○障がい者の親が亡くなり、兄弟姉妹が面倒を見られないとなるとどうなるのか心配だ。
新しいサービス	○新しいサービス(就労選択支援)が始まると聞いた。どのような制度なのか、早い段階から概要など情報がわかるとよい。

■ 多治見地区手をつなぐ親の会(知的障がい者の福祉増進を目的として活動する団体)

交通機関	○公共交通機関は、自分たちが高齢となって、施設に子どもを送っていけなくなった時頼らなくてはならないので、これからも使えるようにしておいてほしい。
支援体制の構築	○現状の課題が解決されていないのに、また新たなことがでてきている。 ○地域福祉計画の委員会を傍聴し、福祉に関する市民アンケート結果を見たら、自分の福祉については50%近くが市の福祉にお願いすると答えている。人口比率で職員も減るのに、多重的な支援はできるのか。
委員の多様性	○地域福祉計画の委員会を傍聴したが、委員20人に対し、女性が2人だった。もっと多様性ある構成にすべき。
グループホーム支援	○建物への支援だけでなく、中で働く人への支援に力を入れてもらいたい。
人手不足	○福祉分野のみならず、いろいろなところで人手不足だ。外国人の方に入ってもらおうなど、現実的な対応が必要。

■ 多治見市肢体不自由児・者父母の会

(肢体不自由児(者)の福祉増進を目的として活動する団体)

駐車場	○車椅子をのせることもあるため、大型の車に乗っている。そのため、駅北庁舎の地下駐車場に高さ制限等で入れない。まなびパーク、豊岡駐車場にも入れない。 ○駅北庁舎の障害者用の駐車場は屋根がなく、車いすの乗降時濡れてしまう。屋根の設置をしてほしい。
事業所	○短期入所(ショートステイ)や生活介護の事業所を増やしてほしい。
申請	○a.特別児童扶養手当、障害児福祉手当の提出(福祉課)、b.障害児通所給付費支給申請書(子ども支援課)の提出、を郵送でできるようにしてほしい。夏休みの時期のため、子どもが自宅におり外出が難しい。
補装具	○肢体不自由でなくとも、安全のため車椅子を必要とする人がある。車椅子購入の助成の対象にしてほしい。

■ 多治見市重度心身障害者協会

(重度心身障がい者の福祉増進を目的として活動する団体)

重度障がい児者の受入れ	○医療的ケア児を受け入れてもらえる事業所が市内にありよかった。 ○自身がインフルエンザになり体調が悪くても、重度の障がい者である子どもの対応をしなくてはならず、非常に辛かった。緊急時に年齢にかかわらず預けられるショートステイ先を確保してほしい。 ○県病院の増築に対し、年齢にかかわらないショートステイ常設を要望したがどうなるか心配だ。 ○夜間や緊急時の対応には補助金を出すなど、事業所が受けやすい形を考えてほしい。
人手不足	○事業所で働く方も高齢化しているものの、代わりの方ヘルパーがいない。

■ 岐阜県難病団体連絡協議会

(難病患者の医療・保健・福祉の増進を目的として活動する団体)

障がい者増加防止	○健康診断の再検査を企業が後押しするような制度で、障がいにならないよう、早い段階で本人に気付かせ、病院へつながるようにしていく必要がある。
市ホームページ	○市のホームページを検索しても、難病に関するページが見当たらなかった。何も分からず困っている人もいるので、もっとアピールしてほしい。
災害時	○大規模災害があると、透析患者はどのようになるか心配だ。 ○避難先の食事はリン・カリウム、塩分が多く透析患者には不向き。低リン・カリのものを用意してほしい。食事で数値が上がり、場合によっては死亡することもあるためだ。
通院のための移動	○病院が提供している通院用バスを、病院がバスをやめてしまうと大変困る。今、近くにバス路線もない。公共交通機関が維持されるようにしてほしい。
難病者の就労	○難病の人のための就労支援がない。
団体の維持	○同じ難病の者が集まって会を作っているが、最近では入会者も少ない

	し、高齢化などで会を離れる人も多い。会を作って要望を挙げていかなくてはならないが、難しい状況だ。
--	--

■ 東濃特別支援学校保護者会

(東濃特別支援学校に通う子どもの福祉増進を目的として活動する保護者会)

支援学校から	○居住地交流について進めていきたい。 ○クワイエットアワー(感覚過敏の方への音や光の配慮を行う時間を設ける取組)の働きかけを行う。
重度障がい児者の受入れ	○事業所に対し、市から重度の障がい児者を受け入れるように依頼をしてほしい。 ○重度の児者を受け入れることへの補助や、職員を増やすために市の助成は出せないか。 ○重度障害児者は看護師がいる事業所でないと受け入れられないが、看護師がいる事業所自体が少ない。看護師を増やしてほしい。
各種申請	○市役所で様々な申請があり、一人で子どもを連れて複数課を回るのは困難。予約ができて1か所で完結させたい。 ○申請などは郵送で済ませられるとよい。
卒業後の進路	○障がい者雇用は身体障害者が中心で、知的、精神の方が少なく不公平。市も採用してほしい。 ○卒業生から、進路先の事業所でいじめにあったなどの話を聞き、心配している。
遊ぶ場	○体は大きいですが、知的には幼いので、幼児用のおもちゃで遊びたい。児童館や地域子育て支援センターで、遊べる時間や場所を作ってほしい。 ○市には児童公園が少ない。大きい公園と駐車場がほしい。

■ 発達支援センター「ひまわり」保護者会(心身に障がいや発達に何らかの遅れや偏りがあり、発達支援センターひまわりに通う幼児を持つ親同士の交流等を行う保護者会)

情報発信	○こういう場で初めて知る情報もある。もっとメールや SNS で有益な情報を周知してほしい。 ○きずなネットは記事が多すぎる。
通級指導教室	○通級指導教室が自宅近くの学校で無いため、他校へ連れていくのは仕事もあり難しい。
相談場所	○療育については、保護者にとってハードルが高い。匿名性が高いところで相談できるとよい。
遊ぶ場	○駅北庁舎のぽかぽか広場は、就園すると入れない。兄弟姉妹で遊ばせられるよう、未就学児までは遊べるとよい。

■ 発達支援センター「なかよし」保護者会(心身に障がいや発達に何らかの遅れや偏りがあり、発達支援センターなかよしに通う幼児を持つ親同士の交流等を行う保護者会)

児童発達支援センターわかば	○「わかば」でも今と変わらない支援を受けたい。
---------------	-------------------------